



日中学院の前は紫陽花が見頃です。
(6.16撮影)

A先生の新語コーナー



Shuāngchuàng “双创”

● 大众创业、万众创新の略。大衆による起業と万民による革新(イノベーション)をいう。中国経済の新たな成長エンジンと位置づけられている。具体的には起業で雇用を創出し、革新で産業の高度化を図り、経済全体の競争力を引き上げる。中国政府は4月の会議で、水準が高く、特色のある一群の「双创」モデル拠点を築き、行政簡素化・権限移譲・公平な競争環境作り、成果・収益の分配などを重点とする実験を進めることを決定した。

(A)



本科・日本語科合同合宿 本科1年 堀池瑞紀

前日は大雨に見舞われ天気が心配されましたが、五月十八日待ちに待った本科・日本語科合同合宿当日は晴天で迎えることができました。普段一緒に授業を受けている同学たちや、発音指導でお世話になった二年生の先輩方、そして日本語科の留学生としっかりとした交流の機会は初めてだったので、私は前日の夜楽しみと緊張でドキドキしてなかなか眠りに付く事ができませんでした。

合宿の会場は高尾わくわくビレッジという緑豊かで空気のきれいな場所でした。疲れていた体も癒され、すがすがしい気持ちになる事ができました。

会場に到着すると、すぐにお昼ご飯の支度が始まりました。薪を割ったり、火をおこしたり、みんなで協力してカレー作りとバーベキューをしました。先輩方に教えていただいた中国語でのカレーの作り方を頑張って発音してみたり、気になったものを留学生とお互いに日本語から中国語、中国語から日本語にしてみたり…。知らないことを沢山知ることができました。みんなで作って、みんなで食べたお昼ご飯はとてもおいしかったです。



お昼御飯が終わると、体育館でスポーツをしました。私は留学生と一緒に踢毬をしました。踢毬は中国のスポーツです。足で羽を蹴って遊ぶ、日本でいう蹴鞠のようなものです。一見簡単そうに見えるのですが、それが案外難しくなかなかなかうまくできませんでした。そんな私の姿を見て、留学生が励まして、コツを教えてくださいのおかげで、私はとても楽しむことができました。



スポーツの後は勉強会で決められた物語を日本語と中国語両方で発表しました。同じ文章を読んで、本場の発音をすぐ横で聞けたのでとてもいい勉強になりました。



あっという間に組まれていたスケジュールが終わってしまい、私はもう少しみんなと交流したかったなと思いました。この合宿で沢山の友達ができ、沢山の事を学ぶことができました。この経験を、これからの学習に活かしていきたいと思っています。



日中学院では、本科・日本語科の全日制クラスの他にも、週1から中国語を勉強して頂ける別科講座を開講しています。別科の授業の中でも、土曜日は午前中から夜間まで、中国語を初めて学習される方のクラスから上級クラスまで様々なクラスを開講し、多くの方が中国語を学習されています。土曜日のクラスに長年通っていたいる同学から学院報にご寄稿頂きましたのでご紹介します。



土曜日が待ち遠しい！ 別科ディスカッション中国語班 西村正人

土曜日を日中学院で過ごすようになって十年がたちました。ゼロからはじめて一年ごとにとりなりの教室へとなりとの教室へと引越し、やがて三階に上がり、またとなりとの教室へ……この十年、花でも育てるみたいに、自分の中の中国語が育つようすをずっと観察してきました。今日、言えなかったことが、明日は言えるかもしれない、今日、聞こえなかったことが、明日は聞こえるかもしれない、そう考えながら、よりよい方法を探し、試してみるのには、本当に楽しいことです。

たとえば、中国人の教師に、どうやってそんなに日本語がうまくなったのですか、とたずねると「テープがすりきれるまで聴いたよ」という答えが返ってきます。その意味は、わかるうがわかるまいが、とにかく聴きなさい、ということです。ただ、今はもう「聴けばいつかはすりきれしてしまうテープ」になど、お目にかかりたくてもお目にかかれません。

そのかわり、スマートフォンにアプリを入れておけば、いつでもリアルタイムでラジオを聴くことができるし、番組のほうに向こうから勝手にやってきてくれます。いくら聴いても「すりきれる」心配などありません。音声教材を苦勞して探していた昔が、まるで嘘のようです。食事しながらでも、掃除しながらでも、歩きながらでも、好きなときにインターネットラジオやポッドキャストを利用して中国語に耳を慣らすことができるのです。

私がよく聴くのは北京新聞広播の『大城小事』と鳳凰衛視の『鏘鏘三人行』です。前者では適度な儿化を含む高速の、後者では少しだけ標準を外れたこれも高速の普通話の会話を聞くことができます。どちらも、今いちばん旬な話題をとりあげてくれます。とくに『鏘鏘三人行』で映画や小説が話題になるとき、その内容はかなりの水準にあります。それだけに、わからないときのわからなさは半端ではないのです

が、私の場合、そういうときは一言でも手がかりが見つければそれでよしとして、とりあえず引き下がることにしています。ただ、聴こえてくる意味不明のキーワードらしきものを、適当にピンインで百度の検索フィールドに入力してみると、あっさり新語の正体や話題の主があらわれ、謎が解けてしまうこともあります。

こういう番組のよいところは、映画やテレビドラマと違って、そのほぼすべてが再利用可能な言葉でできているということです。つまり、聞きとれたら聞きとれた分だけ、老師を相手に試してみる価値のある言葉が見つかった、ということができます。

今もこうして、天安門広場では今日、何時何分に旗を降ろし、明日、何時何分に旗を上げるのかを告げるラジオからの声に耳を傾けていると、窓の外に北京の風景が見えるような気がして（じつはまだ一度も中国に行ったことがないので……）、また、次の土曜日が待ち遠しくなるのです。

(西村同学は第86回中国語検定にて準1級を取得されています。)



日中学院 別科講座

月曜日から土曜日まで、週1から3で中国語を学習して頂けるコースです。中国語を初めて学習される方の入門クラスから通訳レベルまで様々な講座を開講しています。

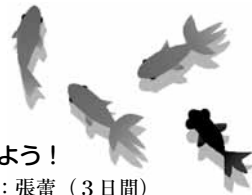
授業時間は、早朝から夜間まで開講しています。詳しい授業内容等はパンフレットをご覧ください。またパンフレットをご希望の方はお気軽にお問い合わせ下さい。

日中学院事務局：03-3814-3591

※授業時間・回数などはお選びになるコースにより異なります。



2016年日中学院 中国語夏期集中講座



♪中国語をはじめよう

- ① 午前：10：00～12：00 担当：小澤光恵（3日間）
- ② 夜間：18：45～20：45 担当：安永久仁子（3日間）

♪「ピンイン一覧表」をしっかり読もう！

- ③ 午前：10：00～12：00 担当：王淑娟（3日間）
- ④ 夜間：18：45～20：45 担当：高木美鳥（3日間）

対象レベル：中国語の発音をひとつとおり学んだ方

♪なっとくの中国語 — やり直し文法

- ⑤ 午前：10：00～12：00 担当：長澤文子（4日間）
- ⑥ 夜間：18：45～20：45 担当：小金井京子（4日間）

対象レベル：週2回で1年くらい学んだ方

♪フリートークを楽しもう！

- ⑦ 午前：10：00～12：00 担当：淳于永南（4日間）
- ⑧ 夜間：18：45～20：45 担当：淳于永南（4日間）

対象レベル：中検2級を目指す方

♪聴いた内容から発話力を鍛えよう！

- ⑨ 午前：10：00～12：00 担当：張蕾（3日間）
- ⑩ 夜間：18：45～20：45 担当：張蕾（3日間）

対象レベル：中検3級レベル前後の方

♪みなみりょうこ先生の中国結び

- ⑪ 午後：13：30～15：30 担当：みなみりょうこ（3日間）

※受講料の他に材料費が必要です（3日分、1,500円）

定員：①～⑩は定員16名、⑪のみ定員10名

受講料：4日間コース12,800円

3日間コース 9,600円

お申込み方法：

①直接窓口にてお申込み

②電話又はインターネットでご予約、後日お振込み

※振込口座はご予約後、ご連絡させていただきます。

詳しい内容は、インターネット又はパンフレットをご覧ください



図書室 だより

たまには本でも・・・

夏目漱石没後100年には興味ないけど、ひさかたぶりに本という代物に手を出した。むずかしいのは御免だけれど、これなら読めそう。

●『吾輩ハ猫ニナル』 横山悠太著 講談社



日本語と中国語をミックスさせて著した語学テキストと言っても過言ではないユーモアたっぷりのパロディー小説。主人公は蘇州に住む日中ハーフの男子学生。ビザの更新に日本に来たが、辿り着いたホテルはオタクの聖地秋葉原。中国語単語に日本語訳のルビをふり、卓越した想像力と観察力でシャレや悪戯をたっぷり利かせた奇想天外な面白さ。この一冊で中検2級ぐらゐの単語はものにできるだろう。

第57回『群像新人文学賞』受賞、第151回芥川賞候補作

— 新着図書 —

●『台湾生まれ 日本語育ち』温又柔著 白水社

著者は本学院卒業。日本語で文筆活動をおこなう

台湾人作家として活躍中。新刊は言葉をめぐるエッセイ。

●DVD『グォさんの仮装大賞』（原題：飛越老人院） 監督・脚本：張楊 主演：許還山、吳天明、李浜

生きる希望も力も奪われたグォさんははじめ老人ホームの仲間たち。彼らは仮装大賞のテレビ出演をめざし、がんじがらめのホームを脱走する。老いることの寂しさ、孤独を乗り越え、幸福とは何かを教えてください。

●その他（著者及び出版社省略）

『シャドーイング日本語を話そう 就職・アルバイト・進学面接編』／『梁啓超—東アジア文明史の転換』／『老生』／『日中の120年文芸・評論作品選2 敵か友か』／『中国の古橋』／『中国第二の大陸 アフリカ』他

— 寄贈 —

下記の方々より寄贈がありました。

●新井一二三様（著者）より『東京閱讀男女』

●ウェイウェイ・ウー様（演奏者）より

CD『ウェイウェイズ・カフェ・タイム』

●匿名の皆様より『曲終人在』／『老根拠地にて』

／『独歩吟』ほか。 ありがとうございます。

7月の日中学院

日	一	二	三	四	五	六
					1 ●日本語科32期 受付開始	2 ●校友会理事会・ 総会 ●校友会講演会
3 ●1日集中講座	4 ●別科262期開始	5	6 ●本科1年朗読会	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18 ●祝日	19	20 ●日本語科 個人面談	21	22	23
24/31 31●本科短期 研修帰国	25 ●本科定期試験 (~30日)	26	27	28	29 ●本科・日本語科 1学期授業最終 日	30 ●本科研究科 1学期 授業最終日
●8月の日中学院 ・1日…本科夏休み (~31日) 日本語科夏休み (~24日)			・9日…別科夏休み (~21日) 夏期集中講座 (~13日) ・14日…夏休み 閉門 (~21日)		・22日…別科授業再開 ・25日…日本語科授業再開/避難訓練 ・27日…本科生のための公開講座	

○本科説明会を兼ねた 中国語無料公開講座

中国語の入門クラスに体験入学してみませんか？

中国語に興味のある本科入学希望者を対象に、発音を中心とした無料公開講座を開催します。

また、当学院の日本語科で学ぶ中国人留学生と水餃子を食べながらの交流会も予定しています。

学院の教学内容や雰囲気を知って頂く良い機会ですのでお気軽にご参加下さい。

日時：①2016年 8月27日(土)

11月12日(土)

③2017年 1月28日(土)

9:30 ~ 11:30 発音公開講座

11:30 ~ 13:00 留学生との交流会

申込方法：お電話やインターネット等でお申し込みください。

①~③とも同じ内容になります。ご希望のお日にちを1日お選びください。

TEL：03-3814-3591 <http://www.rizhong.org/>



○映画のご案内

『ラサへの歩き方~祈りの240km』

チベットの小さな村から聖地ラサ、そしてカイラス山へ。はるか2400kmを“五体投地”で、ほぼ1年かけて歩く11人の村びとのチベット巡礼旅を描くロードムービーです。

別科講座を担当されている樋口裕子先生が字幕を担当されています。

7月よりシアター・イメージフォーラムほか全国順次公開予定です。

事務局でもチケットを販売中。是非ご覧ください！
<http://www.moviola.jp/lhasa/>

○別科公開講座のご案内

9月10日(土) 13:00 ~ 15:00

23日(金) 18:45 ~ 20:45

24日(土) 13:00 ~ 15:00

10月7日(金) 18:45 ~ 20:45

日中学院での学習を検討されている方の公開講座です。ご希望の方は事務局までお問い合わせ下さい。

【編集後記】

6月25日から、本科2年生は短期研修で中国北京を訪れています。帰国後、楽しい思い出話が沢山聞けそうです。

